

› リフォームを取り巻く生活者動向

テレワークをストレスフリーに。100万以下のプチリフォーム

LIXIL



2020年の新型コロナウイルスの感染拡大以降、私たちの働き方や住まい方、暮らしは大きく変わりました。特に一気に普及したのがテレワークやオンライン授業です。その影響で「住まいを見直したい」「不便を解消したい」と考えている人はとても増えています。今回はコロナ禍での暮らしを快適にするための予算100万円以下のプチリフォームに注目。必要な工期やおすすめ商品、アイデアをご紹介します。

中古戸建てでは価格が安定し、成約件数も上昇している

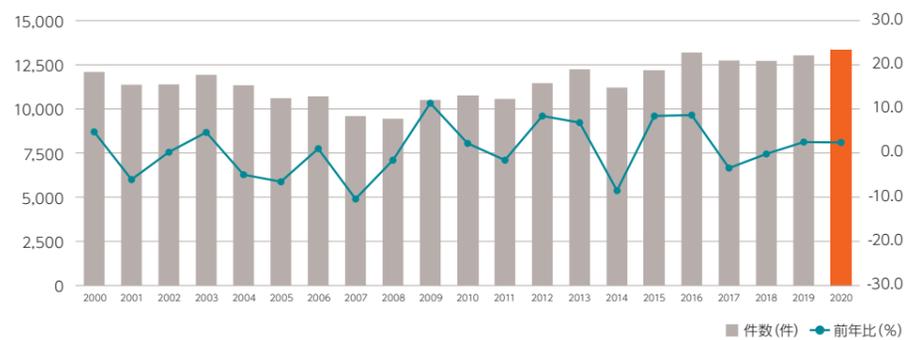
現在、住まいの選び方のなかで、いっそう存在感を増しているのが中古戸建てを購入し、リフォームする住まい方です。2020年には中古戸建ての成約件数が4年ぶりに過去最高を更新しました。「テレワークにも出社にも便利な立地の住まい」「生活環境を変えずに少し広めの家」という条件から、中古戸建てがより多く選ばれているようです。

コロナ禍で住まいのリフォームは増加傾向に

同じように住まい方の選択肢として、増えているのがリフォームです。2020年はコロナ禍により一時的に市場も縮小しましたが、2021年以降は伸長しています。これは「中古住宅を購入してリフォームする」だけでなく、「今の住まいを見直したい」というニーズが反映しているからかもしれません。



＜中古戸建住宅成約状況＞2020年の中古戸建ては1万2500件を超えて過去最高に！



データ出典: 東日本不動産流通機構「首都圏不動産流通市場の動向(2020年)」より

＜住宅リフォーム市場の四半期別市場推移＞2021年もリフォーム市場は堅調に推移



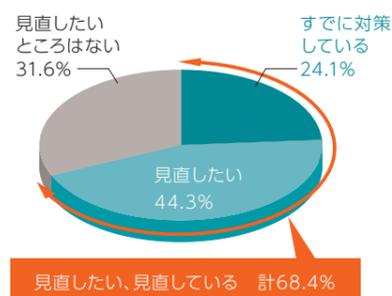
データ出典: 矢野経済研究所「住宅リフォーム市場に関する調査～2021年第二四半期～」より



コロナ禍で「住まいを見直したい」と考えている人は約7割にも

日経ウーマノミクスプロジェクトが行った全国調査によると、「コロナの流行による働き方の変化を受け、住まいで見直したいところがありますか?」という質問に、なんと約7割の人が「住まいを見直したい」「すでに対策している」と回答しているのです。

コロナ流行による働き方の変化などを受け住まいで見直したいところがありますか



出典:日経ウーマノミクスプロジェクト「働き方と住まい」に関する全国調査(2021年)

見直したい内容は、「模様替え」「考えているが決まっていない」などと具体的に詰められていないことが多いようです。リフォームに詳しい一級建築士のYuu(本名:尾間紫)さんは、これについて「コロナ

禍は単なる「きっかけ」にすぎません」と指摘します。というのも、もともと住まいの不具合や不自由さを薄々感じていたものの、目をつむって、まあいいやと我慢してきたものが、家族の在宅時間が増えたことで、「やっぱり住まいを見直したい」「光熱費をなんとかしたい」という思いや行動が芽生えたというのです。こうした、コロナ禍で感じたもやもやとした思いを解消するリフォームは、今後も大きなトレンドになっていくことでしょう。

光熱費の増大やテレワークの場所、家庭内騒音などに不満集中!

では、みなさんは具体的にどのような点に不満を感じているのでしょうか。前出のYuuさんによると多いのは、(1)家事の負担増、(2)光熱費の増大、(3)テレワーク問題、(4)癒やしを求める、(5)衛生志向の高まり、(6)家のレジャー化の6つです。

まずは(1)家事の負担増とその解消法について考えていきましょう。夫婦ともにテレワーク、子どもはオンライン授業になると、家族の1日3回の食事の準備と後片付け、掃除、洗濯、片付けといった日々の家事負担が増大しました。

「名もなき家事」というように小さなタスクも多い家事ですが、高性能な設備や家電を導入することで省力化が可能になります。そのため、現在の家電量販店では比較的高価格でも電気調理鍋、炊飯器、コーヒーマーカーなどが非常によく売れているといえます。同様に食洗機や洗濯機も大容量で、ボタン1つで洗浄から乾燥まで終わる高価格帯の製品を購入して、家事の負担軽減を図る人が多いといえます。

また、トイレやお風呂の汚れやお手入れが大変であれば、思い切って交換するのもひとつの手です。たとえば、便器が持ち上がって掃除のしやすいリフトアップ機能がついたトイレは10万円~15万円/半日で導入できます。ほかにも浴室用水栓や扉は6万円~12万円/半日、洗面化粧台の交換は10万円~25万円/半日で可能です^(*)。

こうした水まわり製品は、最近のものであるほど、汚れがつきにくく、メンテナンスしやすくなっていますし、何より気持ちが明るくなります。家電製品を購入するのと同じように思い切って交換する価値は多いにあります。

※価格は予告なく変更する可能性があります

光熱費増加とテレワーク問題は窓で一挙解決!

続いては、(2)光熱費の増加と(3)テレワーク問題です。在宅時間が増えたことで「水道光熱費が増えた」「電気代の請求書を見てびっくりした」というお悩みが急増しています。また、(3)テレワーク問題では、オンライン授業や会議が行われるので、「家庭内騒音が気になる」「家族の声が気になって、仕事に集中できない」といった不満を持つ人が増えています。

ここでおすすめとなるのが、窓のリフォームです。

「えっ、窓?」と思うかもしれませんが、今までの窓は、断熱性・遮音性があまり高いとはいえません。ですから、窓をリフォームして断熱性や省エネ性を高め、電気代やガス代の節約につなげましょう。たとえば、「インプラス」「インプラス for Renovation」といった内窓リフォームであれば、1窓につき7~29万円、1時間~で、施工もあっという間に終わります。カラーバリエーションも豊富で、室内の印象もがらりとかわります。夏も冬も驚くほど快適になりますし、電気代を見てびっくりすることも減ることでしょう。

また、テレワーク問題ですが、そもそも家庭内のオープンな場所(リビングなど)で働か、クローズなパーソナルスペース(個室や収納など)で働かという問題があります。ただ、家庭内騒音が気になる人は、「室内用窓 デコマド」をつけるなどして、オープンな空間を区切り、独立させるのがよいでしょう。窓で仕切ることで壁よりも圧迫感がなく、明るく心地よいワークスペースが完成します。場所にもよりますが、予算は6万6000円~です。

よりクローズな空間で集中して働きたいという人は、現在、活用しきれていない収納や押入れをリフォームするのが有効です。たとえば、既存の収納に可変性の高い「ヴィータスパネル」を入れ、高さ70cmの場所に棚板をつけて、好みの椅子を置けば、クローズなワークスペースができあがります。扉をさっと締めれば、すぐに隠せるのでごちゃごちゃ感も気になりません。予算19万~33万円のできるので、価格的にも検討しやすいのがうれしいですね。

ちなみに、前出のYuuさんも、「ウィズコロナの時代だからこそ、住まいの一部に『籠もれるパーソナルスペース』を設けて、気持ちを落ち着かせることが大切」と指摘しています。内窓やヴィータスパネルはこうしたパーソナルスペースづくりにも有効でしょう。

衛生志向、家のレジャー化も リフォームで解決！

また、現在、(5)衛生志向の高まりで、手洗い動線、換気機能といった点を気にする人が増えています。

そんな人におすすめなのがリフォームで設置できる「どこでも手洗」です。奥行き30cm～、幅60～75cmあれば設置でき、玄関まわりの衛生リフォームとして取り入れている人が増えています。うれしいのが手洗いボウルは4種類から、カウンターはタイルと木製の12種類から、水栓の色は2種類から選ぶことができる点です。玄関は「住まいの顔」といいますから、さりげなくわが家らしいインテリアとして演出したいですね。

換気を気にする人におすすめのリフォームが、玄関扉を採風機能のついたものに交換する「リシェント採風タイプ」です。施錠したまま風を通すことができますので、自然と室内の空気を入れ替えることができます。また、風の通り道ができるので、玄関のじめじめ、ニオイ対策としても有効です。もちろん、施錠はしたままなので、防犯上も安心。虫もしっかりとブロックします。

(6)家のレジャー化という意味では、宅トレやゲームなど、住まいで運動をする人が増えています。先程紹介した内容のリフォームとあわせて、「ラシッサS/Dフロア直貼り防音床」のように防音性の高い床材にリフォームして、階下に伝わる生活音を抑えると、音の心配なく運動やゲームが楽しめることでしょう。

工期や価格も明快に。 もっと手軽にリフォームを楽しもう

リフォームは、今まで工期や費用がわかりにくいことが、ひとつのネックとなってきました。LIXILでは時

間と費用の目安がすぐに分かるサイトがありますので、是非ご覧ください。



<https://www.lixil.co.jp/reform/patto/default.htm>

「こんなことできるのかな?」「いくらくらいかかるのかな?」と思ったらぜひ一度、検索してみてください。施工事例も見ることができるので、きっと参考になるはずです。

また、最近では家にいながらにしてリフォームの相談・見学・プランニングができる「オンラインショールーム」も好評です。現在、悩んでいる場所の写真やヒアリングシートをもとに相談できるので、無駄がなく効率よくリフォームできます。



https://www.lixil.co.jp/showroom/online_customer_service/

リフォームは、自分の暮らしにあわせて住まいを快適にしていくものです。もちろん、手間やお金はかかりますが、その分「やってよかった!」「もっとリフォームしたい」という声が多いもの。今後も、「リフォームで住まいを自分らしく、快適に」という流れは変わらずに続いていくことでしょう。

※こちらの価格は、2020年10月時点において、「リクシルPATTOリフォーム」サービスショップ(青森、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪及び福岡の株式会社LIXILトータルサービス直営店)の実勢価格(税抜)の調査をもとに、調査結果の価格データに消費税10%を上乗せし、上下各10%を捨象した、中央帯の80%の価格に基づき千円台を四捨五入し算出した参考価格です。工事の内容は現地調査・配送・取付諸経費を含みます。

※この範囲に含まれない見積もり価格及び工事期間もあります。
※詳細については現地調査の上、改めてのお見積りになります。
※住宅の構造や条件・地域により、商品代・工事費が異なる場合があります。
※商品仕様により価格が異なる場合があります。
※詳しくは「リクシルPATTOリフォーム」サービスショップにお問い合わせください。



LIXIL

LIXILでは、窓や玄関ドアの断熱リフォームに加え、ひと部屋ごとに対応した「ひとへや断熱リフォーム」や、住宅一棟まるごと改修可能な「まるごと断熱リフォーム」などお客様のニーズに応じたさまざまなラインアップをご用意しています。お住まいの家を断熱することによって、家族の大切な健康を守るのと同時に、光熱費やCO2排出量を抑え、「#省エネ住まいで幸せに」を実現します。ぜひこの機会にご自宅の“断熱”を見直してみませんか。LIXILは今後も、地球規模の気候変動問題の解決に向けて、住宅の高性能化を推進し、誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に貢献します。

<https://www.lixil.co.jp/shoenesumai/dannetsu/>

